



## 学力向上を図るための調査結果 (6年) のお知らせ

今年度の学力調査における評価の観点別結果および教科全体結果をお知らせするとともに、課題・指導のポイントを検討しました。調査結果を基に、授業改善推進プランを作成し、それを基に授業を改善してまいります。(授業改善推進プラン全体計画は、学校のホームページに掲載しております。そちらもご覧ください。)

調査対象学年の皆様には、すでに担任より返却されている個票等と照らし合わせながら、その後の学習状況等を確認する一助となれば幸いです。

また、学力調査の対象学年ではない皆様におかれましては、この調査は、その多くが前の学年までに学習したことをもとにして回答する問題が多く出題されます。重点となる学習内容や今後の学習の仕方に関して、参考にしていただきたいと思います。

児童質問紙の結果を多角的に読み取ると、様々な発見があるはずで、こうした情報を比較・関連付けながら読み取り、考察するなどして自分の考えをまとめ・表現することを問う問題が本学力調査では多く出題されています。ご家庭でもぜひお子様と一緒に、今後につながる発見や気づきをたくさん見付け、共有して生かしていただければ幸いです。

12月は個人面談もごさいます。学校と家庭が連携し、児童の学力および体力の向上のために力を合わせていきたいと存じます。このあと、「5年学力調査等結果 編」と「都体力・運動能力調査結果 編」も追って配布いたします。

### 1 6年生 全国学力・学習状況調査 (4月19日実施)

#### (1) 国語

##### ア 知識

	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	国語全体
南田中小	83.0	84.9	83.0	71.9	75.8
東京都	81.6	77.2	79.9	71.2	73.8
全国	79.2	72.8	78.5	71.1	72.9

**全ての評価の観点で都や全国の平均正答率 (以後、平均値と表記する。) を上回っています。「書く能力」は、都や全国の平均値と比べ、高い値でした。「書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する」能力を**

問う設問でした。日々の授業等で作成されるノートや作品等に対して、よりよくするために何が必要なのかを振り返らせたり、発表させたりする指導を重ねた結果であると受け止めています。また、「目的に応じて、図と表とを関係付けて読む」能力の正答率は98%と非常に高い数値となりました。

「言語についての知識・理解・技能」は、都や全国の平均値をわずかに上回っている状況です。この観点は、漢字やローマ字の読み書きの状況を把握するための設問です。ローマ字の読み書きに関しては、いずれも都や全国の平均値を下回り、正答率も50%を割っています。今後、児童がより一層国語力を伸ばしていくためには、「語彙」を増やすこと、漢字やローマ字を正しく読み書きすることが鍵になると考えます。

次の点について、家庭と連携を図って指導を重ねていきたいと考えています。

**○漢字の読み書きに関する継続的な学習、国語辞典や漢字辞典の利用を行う。**

**○ローマ字の規則性を押さえて学習する。**

具体的には、授業の中で新出漢字を学習する時間を確保してまいります。またローマ字の学習は、3年生から学習が始まりますが、日本語の音節が子音と母音の組み合わせであることを意識させていきます。6年生まで4年間でローマ字に接したり、活用したりする機会をどれだけ生み出せるかも課題となります。情報機器の活用や他の学習との関連を見直し、指導計画の改善に努めます。

漢字やローマ字の読み書きは、**家庭学習**で取り組みやすい内容と思います。しかし、地道な努力と集中力も必要な学習であるのも事実です。「語彙」を増やす近道は、読書や新聞などの活字にふれることだと言われます。本校の特色である区立南田中図書館との連携や「よむよむ隊」の皆様による読み聞かせ等を継続・発展させていけるように努め、さらなる読書活動の充実を行ってまいります。

## イ 活用

	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	国語全体
南田中小	71.2	61.0	65.4	76.7	67.4
東京都	55.3	52.7	55.2	70.7	59.8
全国	54.7	51.1	61.1	69.3	57.8

**全ての観点で都や全国の前年比を上回っています。**設問別では、「目的に応じて、質問したいことを整理する」問題は全国の前年比は上回ったが、都の前年比は下回っています。スーパーマーケットの店長へのインタビュー

メモを作成した際の工夫した点を選択する問題でしたが、何のために質問するのかという目的意識を高めること、目的に沿った取材ができるよう思いついた質問の優先事項を整理・分類することが今後の授業改善の視点になると考えます。国語科はもちろんですが、生活科や社会科、総合的な学習の時間の見学や調査活動をとらえて、育てていく必要があります。

また、「グラフを基に、分かったことを的確に書く」問題は、都や全国の前年比を下回っています。ただし、「目的に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書く」問題の前年比は、都や全国の前年比を大きく上回っています。このことから、グラフや図から読み取れる情報を正しく表現することに課題があるのではないかと考えます。自分の考えを裏付ける根拠や情報は何かをより意識させられる授業改善を行います。

次の点について、授業改善を図り、指導を充実させてまいります。

### ○図表やグラフを基に分かったことを的確に書く。

分かったことを的確に書くには、情報を正しく読み取り、必要な情報について適切な言葉を用いることが重要です。社会や算数で学習した図表やグラフの読み取り方を生かして、読み取れるように指導を重ねてまいります。**ご家庭でも**新聞などに掲載された図表やグラフを参考に、この記事は何を伝えようとしているのかと話し合ってみたり、注目する言葉や数字に着目させたり、グラフの傾きに注目させるようなお声かけをされたりしていただければ幸いです。

### ○目的や意図に応じ、図表やグラフを用いて、自分の考えを書く。

**ご家庭でも**、何かの活動報告をする際、活動に取り組んだ成果と課題に対して自分の考えや伝えたいことを明確にさせるよう意識していただければ幸いです。自分の考えを示す根拠となるツールとして図表やグラフ等を活用するとよいことを実感させてまいります。自分の考えをもつこと、理由や根拠ある説明ができるようにすることを学校と家庭でともに意識しながら児童を育てていければと考えています。

## (2) 算数

### ア 知識

	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	算数全体
南田中小			87.5	83.2	84.6
東京都			83.5	77.6	79.4
全国			82.5	75.4	77.6

**全ての観点で都や全国の前年比を上回っています。**設問別に確認すると、「除数と被除数に同じ数をかけても省は変わらないこと」の確認する問題、「図形の構成要素に着目した図形の構成力」を確認する問題に関しては、都や全国の前年比を下回っています。

これらの結果は、児童に計算のきまりや法則に関する理解や活用の不足、三角形や四角形等の形はどのような条件が備わっている場合なのかの理解、形を用いて模様や新たな形を生み出すような経験が不足している可能性があると考え、授業改善に努めてまいります。

四則計算については、反復して習得・習熟させ、定着度を高めてまいります。**学校のホームページには、東京方式「ベーシック・ドリル」を掲載しています。1年から6年まで様々な領域の問題に取り組めるので、ぜひご活用ください。**

今、身に付いている力を伸ばすために、次の指導を充実させてまいります。

**○除法の性質を理解したうえで、小数の除法の計算の仕方を理解できるようにする。**

整数の除法の計算と同じように行えることを押さえます。分数の計算における通分や約分も同じ考え方で行えます。こうした性質の理解をとらえさせられるように意識します。**ご家庭でも**、「除数および被除数に同じ数をかけても、わっても商は変わらない」という性質を理解しているかをご確認いただければ幸いです。不十分と感じた場合には整数の除法の計算を反復することで小数の除法の計算力も高まっていくと考えます。

**○日常生活の事象と式を関連付け、式の意味や数値の意味を解釈し、説明できるようにする。**

すぐに立式して計算することだけではなく、より事象を捉えるために図表や言葉の式に表すことも大切にしていきます。

**ご家庭でも**、引き続き日常生活の中で、計算を用いる機会を設定していただければ幸いです。また、ワークテストを確認する際は、問題の正答だけではなく、用いた式やその答えが表している意味に注目し、そのことを尋ねていただけると今ある力がさらに伸びると考えます。

**イ 活用**

	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	算数全体
南田中小	48.8	72.6	77.4	56.9
東京都	42.8	58.8	72.6	49.8
全国	40.9	53.3	69.5	47.2

**全ての観点で、都や全国の平均値を上回りました。**設問別に確認すると、どの問題も都や全国の平均値より高いことも分かりました。

「**図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断する**」問題のみ都や全国の平均値を約10%下回っていました。

知識の問題でも図形の構成力に関する設問が都や全国の平均値を下回っており、図形を操作して新たな形を生み出すなどの体験的な学習を増やしていけるよう授業改善が必要だと考えます。作図に関しては、本校に限らず都や全国とも図形領域の設問の正答率は30%を割っています。また、都や全国の平均値は上回っているものの、「**式の中の数値の意味を解釈し、それを記述する**」問題や、「**グラフを読み取り、それを根拠に示された事柄が正しくない理由を記述する**」問題についても、正答率が30%前後となっていました。

次の点を留意して授業改善に努めてまいります。

**○図形の構成要素に着目して見通しをもって図形を構成したり、構成できた根拠を説明したりする。**

形を予想させたり、できた形の根拠を考え説明したりする機会を増やしたいと考えています。学校では、図画工作科等と関連を図り、具体物を用いたり、作成したりする活動を豊かにしていけると、図形の性質などの理解も実感的なものになるのではないかと考えています。設計図などを作ることで、完成させたい作品をイメージさせることも重要な学習になるはずですが、実際に出来上がったものと比較することで、たくさんの要素に着目できるようになるのではないかと考えています。

**ご家庭では**、図画工作科で創作した立体作品をご覧になった際には、制作過程でどんなことを考えながら創ったのかをぜひ聞いていただければ幸いです。自分なりに形の構成等を見通していることが伝わってくるはずですが。

**○グラフを批判的に考察し、情報を正しく読み取ることができるようにする。**

グラフを読み取るためのスキルとして、「複数のグラフを比較する時、それぞれの目盛りの大きさなどに留意すること」、「変化の大きさや増え方の大きさの違いに着目すること」などを養っていきます。かき方は算数科で、読み取り方は社会科を重点的に指導してきました。改めて各教科等の関連を意識できるよう努めてまいります。

**○判断した根拠を明らかにした上で、説明することができるようにする。**

読み取ったことを話し合い、様々な見解に出会えるよう授業改善を行います。話し合ったことを振り返る時間を設け、理解が深められるよう努めてまいります。

### (3) 児童質問紙

本調査にて「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合(%)に着目し、本校と全国の平均値を比較してみました。

本校児童の良い点については、90%以上の回答または全国平均値を5%以上上回っている質問から抽出しました。課題・改善点については、50%以下の回答または全国平均値を下回っている質問から抽出しています。

良い点	南田中小	全国		南田中小	課題・改善点
朝食を毎日食べている	96.6%	87.3%	55.2%	37.8%	授業の予習をする。
毎日、同じくらいの時刻に寝る	86.8%	80.1%	55.2%	52.8%	授業の復習をする
物事を最後までやり遂げて、うれしい	100%	94.5%	67.9%	56.6%	地域の行事に参加する
友達の話や意見を最後まで聞く	98.1%	92.7%	60.7%	52.8%	地域社会などのボランティア活動に参加する
将来の夢や目標をもつ	94.4%	85.3%	76.1%	75.5%	難しいことでも失敗を恐れず挑戦する
好きな授業がある	96.2%	93.5%	76.3%	71.7%	自分には、よいところがある
話し合っ、学級のきまりなどをきめている	94.3%	81.8%	64.6%	60.4%	自学自習にて教科書を使いながら学習する
友達との約束を守る	98.1%	97.2%	91.5%	86.7%	学校のきまりを守っている
異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめる	71.7%	58.6%			
家の人と学校での出来事を話す	86.8%	79.2%			
<b>90%以上の回答を得ているが、全国値を下回っている項目または50%以下だが全国値を上回っている項目</b>					
○新聞を読む (南田中小 34.0%, 全国 24.0%)					
○いじめは、どんな理由があってもいけない (南田中小 94.3%, 全国 96.6%)					
○同じくらいの時刻に起きる (南田中小 90.6%, 全国 90.8%)					
○人の役に立つ人になりたい (南田中小 90.6%, 全国 93.8%)					
○宿題をしている (南田中小 96.2%, 全国 97.0%)					
○友達に会うのは楽しい (南田中小 92.4%, 全国 96.2%)					

#### ○テレビ、DVD等の視聴時間について(平日)

1日当たり4時間以上(南田中小13.2%, 全国16.0%)、3時間以上4時間未満(南田中小7.5%, 全国16.8%)、2時間以上3時間未満(南田中小37.7%, 全国24.3%)、1時間以上2時間未満(南田中小18.9%, 全国26.9%)、1時間未満(南田中小18.9%, 全国13.9%)で、全く見たり聞いたりしない(南田中小3.8%, 全国2.0%)という結果でした。**全国の結果と比較すると、3時間以上テレビ等を視聴している児童は全国の平均値よりは下回っています。**1時間以上3時間未満が56.6%を占め、割合として多いようです。

#### ○専用機器、携帯電話、スマートフォン等でゲームをする時間(平日)

**ゲーム等に触れている児童は、83%以上いました。**1日当たり4時間以上(南田中小3.8%, 全国8.2%)、3時間以上4時間未満(南田中小3.8%, 全国7.8%)、2時間以上3時間未満(南田中小20.8%, 全国13.7%)、1時間以上2時間未満(南田中小22.6%, 全国25.3%)、1時間未満(南田中小32.1%, 全国31.1%)、全くしない(南田中小17.0%, 全国14.0%)でした。**全国の結果と比較すると、3時間以上の児童の割合は少ないようです。**こちらの数値を参考に家庭でのゲームをする時間を見直していただければ幸いです。

#### ○携帯電話、スマートフォンでの通話、メール、インターネット接続時間(平日)

**60.4%以上の児童が使用しています。**1日当たり4時間以上(南田中小3.8%, 全国3.0%)、3時間以上4時間未満(南田中小0%, 全国2.8%)、2時間以上3時間未満(南田中小3.8%, 全国4.6%)、1時間以上2時間未満(南田中小11.3%, 全国8.1%)、1時間未満(南田中小3.8%, 全国11.9%)、30分より少ない(南田中小37.7%, 全国30.7%)、持っていない(南田中小39.6%, 全国38.9%)でした。**全国の結果と比較すると、一部の児童に長時間の使用がみられるようです。**

#### ○家庭での学習時間(平日：学習塾等も含む)

1日当たり3時間以上(南田中小37.7%, 全国10.8%)、2時間以上3時間未満(南田中小22.6%, 全国14.7%)、1時間以上2時間未満(南田中小17.0%, 全国37.0%)、1時間未満(南田中小13.2%, 全国25.4%)、30分より少ない(南田中小9.4%, 全国8.9%)、全くしない(南田中小0%, 全国3.0%)でした。**全国の結果と比較すると、学習時間は多いようです。**